

SCビジネスフェア2017 PDCがサイネージ用 ディスプレイを出展

第41回日本ショッピングセンター全国大会「SCビジネスフェア2017」が1月25、27日に横浜市西区のパシフィコ横浜で開かれた。同イベントは年一回、ショッピングセンター（SC）業界を構成するSCディベロップ、テナント、サポート企業などが出展し、全国から多くの関係者が参集するSC業界唯一の商談展示会。ここに毎年大々的な展示ブースを構えているピーディーシー（PDC）は、国内のデジタルサイネージ（サイネージ）ベンダーの草分けの企業である。

PDCシステムビジネスの、デジタルシステム EDディスプレイだ。スブマネージャの上岡 仙入氏は「このイベントは当社の顧客が多く集まる展示会だけに、6月のデジタルサイネージジャパンとともに力を入れている。今回も数多くのサイネージソリューションを展示した」と説明する。数ある展示の中で、上岡氏が目玉として挙げた



両面薄型ディスプレイ

のが、デジタルシステム EDディスプレイだ。スブマネージャの上岡 仙入氏は「このイベントは当社の顧客が多く集まる展示会だけに、6月のデジタルサイネージジャパンとともに力を入れている。今回も数多くのサイネージソリューションを展示した」と説明する。数ある展示の中で、上岡氏が目玉として挙げた

興行が84㎡。フロントとリア兼用のメンテナンス構造を採用することで、複雑なモジュール交換や電源・受信カードの交換もフロントからでき、容易なメンテナンスを実現した」と話す。

LEDを採用したことで、四角いフレームにとられることなく自由な形でサイネージを構築することが可能。「今後SC市場でも大きな市場の伸びが期待できる」（上岡氏）としている。

京都タワーの展望台などに設置されている、インバウンドタッチパネルも注目の製品である。京



デジタル内装向け薄型LEDディスプレイ

都タワーでは、外国人観光客に対して多言語で京都の名所を紹介すること

また、施設全体のフロアガイドを3D化したタッチパネルコンテンツも



フロアガイドを3D化したタッチパネルディスプレイ

「画面バーディスプレイ」は、高さの低い天井にも設置可能。これまでの空間が新しくサイネー



ガラスディスプレイを採用したインバウンドタッチパネル

「壁もポスターも、いずれ電子化されコンテンツが配信表示される。それを信じて、ベンチャー制と語っている。

社長の話を。続けて「当社は、サイネージ業界を作ってきたパイオニアであり、現在も新しい革新的な商品やサービスを最高レベルのクリエイティブと技術で



両面バーディスプレイ

度を活用し起業したのが、2001年。当時は、そのよ

うなことを予見した企業はみられなかったが、現在では、当たり前になりつつある」と菅原

度を活用し起業したのが、2001年。当時は、そのよ

うなことを予見した企業はみられなかったが、現在では、当たり前になりつつある」と菅原